

Cisco Wireless 9171 シリーズ アクセスポイント

目次

Cisco 9171 シリーズ	3
製品の概要	3
機能と利点	4
優れた機能	5
ライセンス	7
製品仕様	7
アンテナパターン：シスコ ワイヤレス 9171 シリーズ	12
発注情報	23
保証情報	23
製品持続可能性	23
シスコおよびパートナーの提供サービス	25
Cisco Capital	25
詳細はこちら	25

Cisco 9171 シリーズ

Cisco® Wireless 9171 シリーズ Wi-Fi 7 アクセスポイントは、次世代のワイヤレスネットワーキングへのシームレスなエントリを提供し、小規模なホテル、学生寮、小売店、医療クリニック、テレワークハブ、およびサテライトオフィス、地域の支店、物流ハブなどの分散されたビジネス拠点などの環境に信頼性の高い高性能な接続を提供します。コンパクトでエネルギー効率の高い設計と柔軟な管理オプションを備えた CW9171 は、低価格について妥協することなく、将来に備えた強力な接続を実現します。



製品の概要

シスコ ワイヤレス 9171 シリーズ Wi-Fi 7 アクセスポイントは、医療クリニック、学生寮、および分散されたビジネス拠点などの環境向けに設計された高性能ワイヤレスソリューションです。2.4 GHz、5 GHz、または 6 GHz 帯域でのデュアル無線機能により、CW9171 は低度から中程度のデバイス密度の空間に信頼性の高い高速接続（最大 6120 Mbps のフレームレート）を提供します。クラウド、オンプレミス、ハイブリッドなどの柔軟な展開オプションにより、既存のネットワークへのシームレスな統合が可能になります。

これらのアクセスポイントは、ワイヤレスのパフォーマンスを向上させ、よりスマートな空間を実現するように設計されています。お客様に対しては、CW9171 シリーズは信頼性の高い Wi-Fi 7 パフォーマンスを提供し、IoT 統合、遠隔医療などの高度なアプリケーションとシームレスな顧客体験（CX）を実現します。ビジネスにおける主な利点は、進化するネットワークの需要に対応しながら消費電力を削減できる、エネルギー効率の高い、将来を見据えた接続です。これにより、CW9171 は、ネットワーク インフラストラクチャを最新化および最適化するための基盤となります。

機能と利点

表 1. 機能と利点

機能	利点
デュアル無線トライバンド Wi-Fi 7 (2.4および5/6 GHz)	最新のデバイスに信頼性の高い高速接続を提供します。
6120 Mbps の集約データレート	ストリーミングや IoT などの帯域幅を大量消費するアプリケーションをサポートします。
クラウド、オンプレミス、またはハイブリッド管理	ネットワーク管理とモニタリングを選択することで、さまざまな環境で柔軟に拡張可能なデプロイメントが可能になります。
IoT 無線 (BLE、802.15.4)	統合された Bluetooth Low Energy (BLE) および IoT 無線は、アセットトラッキングと自動化によってスマートな空間を強化します。
マウントの互換性があるコンパクトな設計	インストールが簡素化され、展開時間が短縮されます。
電力効率	CW9171 は 30 W の電力消費で、運用コストを削減し、サステナビリティの目標をサポートします。
中密度無線設定	小売や医療などの特定の使用例のパフォーマンスを最適化します。
デュアル電源オプション (PoE/DC)	古いスペースまたは一時的なスペースでの柔軟な展開を提供します。
Wi-Fi 7 (802.11be)	IEEE 802.11be 標準規格は、超高スループット (EHT) または Wi-Fi 7 とも呼ばれる Wi-Fi の最新規格です。4K-QAM、マルチリンクオペレーション (MLO)、拡張された直交周波数分割多重アクセス (OFDMA)、データ転送速度と接続パフォーマンスを向上させるために構築された 320 MHz チャンネル幅のプリアンブル パンクチャリング サポートなどで機能強化されており、特に AR や VR アプリケーションなどの低遅延を必要とするアプリケーションに適しています。
Wi-Fi 6E (802.11ax)	標準規格である IEEE 802.11ax (別名 High-Efficiency-Wireless (HEW) または Wi-Fi 6) は、802.11ac を基盤とする技術です。通常の環境ではより優れた体験を実現し、4K または 8K ビデオ、高密度高解像度のコラボレーション アプリケーション、全ワイヤレスオフィス、IoT などの高度なアプリケーションでも、安定した性能を発揮できます。Wi-Fi 6E は Wi-Fi 6 を 6 GHz 周波数帯域に「拡張」したものです。
帯域のステアリング	バンドステアリングは、デュアルバンドデバイスが 5 GHz または 6 GHz 帯域のより高い無線周波数を検出し、その帯域で自動的に送信できる機能です。この機能により、アクセスポイントは、より最適な無線周波数にデバイスを誘導し、経路変更することが可能になり、ネットワークパフォーマンスが向上します。
2.5 Gbps マルチギガビットイーサネット	マルチギガビット イーサネットは、最大 2.5 Gbps の速度を提供します。 注記: 2.5 Gbps ポート速度には Cat5e、Cat6、または Cat6A ケーブルが必要です。
AP 電力の最適化 (AP 省電力モード)	AP 電力の最適化 (AP 省電力モード) により、アクセスポイントは、たとえば、業務時間外や週末には無線をオフにし、必要となればすべての機能を再始動するなどのスマートな動作で、電力消費を削減できます。これにより、電力を節約し、ワイヤレスネットワークを実行するための CO2 排出量を削減します。
インテリジェントキャプチャ	インテリジェントキャプチャはネットワークを調査して、Cisco Catalyst® Center に詳細な分析を提供します。このソフトウェアは、240 を超える異常を追跡し、すべてのパケットをオンデマンドですぐに確認できるため、オンサイトのネットワーク管理者のような役割を果たします。また、ワイヤレスネットワークに関して、詳細情報に基づいた意思決定を行うことができます。

機能	利点
Bluetooth/BLE	統合された Bluetooth Low Energy (BLE) 5.3 無線により、アセットトラッキング、経路案内、分析などのロケーションベースの用途にも利用できます。将来のソフトウェアアップデートで BLE 6 にアップグレードできます。
アプリケーション ホスティング	アプリケーションをホスティングすることで、オーバーレイネットワークをインストールして管理する必要がなくなるため、IoT の導入が将来にわたって容易に用意できるようになります。USB インターフェイスとコンテナ化されたアプリケーションおよびハードウェアモジュールを使用することでコストが減少し、シンプルになります。Cisco Catalyst Center を追加すると、導入環境全体でのアプリケーションのライフサイクル管理とワークフローが可能になります。
アプリケーション コンテナ サポート	コンテナのサポートにより、ホストアクセスポイント上の IoT アプリケーションにエッジコンピューティングの機能を提供します。

優れた機能

シスコ ワイヤレス 9171 シリーズ Wi-Fi 7 アクセスポイントは、Wi-Fi 7 (802.11be) 標準規格のすべての機能を組織に提供するように設計された、最新かつコンパクトで汎用性の高いワイヤレスソリューションです。この次世代アクセスポイントは、検証済みの信頼性と慎重な設計を基盤として、小さなフットプリントで比類の無いパフォーマンスを提供します。

これらのアクセスポイントは、小規模から中規模のビジネス、リモートおよびブランチオフィス、ホームオフィス、接客業、教育機関、およびデザインやスペースで妥協することなく、堅牢で高性能の Wi-Fi 7 接続を必要とする低密度から中密度の企業環境に最適です。

マルチギガビットの速度、超低遅延、優れたキャパシティを含む Wi-Fi 7 の革新的な機能を、目立たず、柔軟でデプロイしやすいサイズで提供し、オンプレミスでもクラウドでも、既存のシスコ ワイヤレス インフラストラクチャとシームレスに統合します。

グローバル ユース アクセス ポイントと Cisco Networking Subscription の概要

グローバル ユース アクセス ポイント

シスコの包括的な 6 GHz ワイヤレスポートフォリオを拡張する 9171 シリーズのグローバル ユース アクセス ポイントは、最新のワイヤレスネットワークに復元力と拡張性のあるソリューションを提供します。これらのアクセスポイントは、クラウド、オンプレミス、またはハイブリッドのデプロイメントモードでもシームレスに動作し、将来必要な柔軟性と投資保護を約束します。

シスコ ワイヤレス Wi-Fi 7 アクセスポイントを使用すると、シームレスで拡張性があり、わかりやすい管理モード検出に関するインテリジェントなプロセスを利用できます。グローバル ユース アクセス ポイントのオンボーディングプロセスにより、スタック固有の製品や規制ドメイン固有の製品が不要になり、設置時の時間と労力を節約できます。

シスコの Wi-Fi 7 グローバル ユース アクセス ポイントにより、シスコのワイヤレス製品ポートフォリオがさらに統一されます。オンプレミスまたはクラウドマネージド ネットワーキングを選択した場合、9171 シリーズ アクセス ポイントを使用すると、将来を見据えたネットワークを簡単に構築できます。

Cisco Networking Subscription

Cisco Networking サブスクリプションは、シスコのソフトウェア、ハードウェア、サービス、およびプラットフォームの管理を合理化します。このライセンスモデルは、現在のネットワーク投資をサポートし、将来に向けて保護します。同じ統合ライセンス、ハードウェア、および組み込み製品サポートを使用して、オンプレミスでもクラウドでも、ネットワークを柔軟に管理できます。

Cisco Networking サブスクリプションで Wireless 統合ライセンス（シスコ ワイヤレス Essentials または Advantage）を購入できます。ライセンスには、ハードウェアとソフトウェアの両方に対する製品サポートが含まれています。有効な Cisco Networking サブスクリプションを使用すると、次のような柔軟性が得られます。

- コストセンターのニーズに合わせて更新日を集約して調整する
- 既存のサブスクリプションにライセンスを追加し、一貫した更新日を維持する
- 期間中および期間終了時のアップグレード権限（更新）
- 同じサブスクリプションに異なるライセンス階層（Essentials または Advantage）を含める

注記： Cisco Networking サブスクリプションの詳細については、[データシート](#)を参照してください。

インフラストラクチャの保護

Cisco Trustworthy ソリューションで構築されたシステムにより、シスコ製品のための、安全性の高い基盤が提供されます。シスコ ワイヤレス アクセス ポイントでは、ハードウェアとソフトウェアの真正性を保証してサプライチェーンの信頼性を高め、ソフトウェアとファームウェアへの中間者攻撃に対する防御を強化できます。Trustworthy の機能には、次のものが含まれます。

- イメージ署名
- セキュアブート
- シスコのトラストアンカーモジュール

既存のネットワーク インフラストラクチャとのシームレスな統合

企業がハイブリッドなワークプレイスや分散された場所に適応するにつれ、柔軟な展開が不可欠になっています。シスコ ワイヤレス 9171 シリーズアクセスポイントは、クラウド、オンプレミス、またはハイブリッド管理を提供し、既存のインフラストラクチャへのシームレスな統合を実現します。自動設定可能なセットアップにより、さまざまな場所でのインストールが簡素化され、IT チームの複雑さが軽減されます。

サテライトオフィス、学生寮、リージョンのブランチなどの環境向けに設計されたこれらのアクセスポイントは小型で、既存のマウントと互換性があるため、中断を最小限に抑えながら迅速な導入を実現できます。

主な機能は次のとおりです。

- 自動設定：多様な環境でのセットアップを簡素化します。
- スケーラブルな管理：動的なビジネスニーズに適応します。
- マウントの互換性：インストールの手間と時間を削減します。

持続可能性を実現する省エネ設計

エネルギー効率、運用コストの削減と持続可能性に関する目標との整合を目指している企業にとっての優先事項です。シスコ ワイヤレス 9171 シリーズは、すべての機能を使用してもわずか 30 W で動作します。この設計により、パフォーマンスについて妥協することなく、電力消費を最小限に抑えられます。

主な機能は次のとおりです。

- エネルギーコストの削減：パフォーマンスを維持しながら、運用コストを削減します。
- サステナビリティの目標に対するサポート：企業の環境への取り組みと連携します。
- デュアル電源オプション：多様な導入環境に柔軟に対応します。

シスコ ワイヤレス 9171 シリーズは、Wi-Fi 7 の高度なパフォーマンスと、統合、効率性、および拡張性を組み合わせて、今日の接続された組織のニーズに対応するために、比類のない価値を提供します。

ライセンス

9171 シリーズを含む Cisco Wi-Fi 7 アクセスポイントには、Cisco Networking サブスクリプション（シスコ ワイヤレス Essentials またはシスコ ワイヤレス Advantage ライセンス）が必要です。

ライセンスの機能とサポートの詳細については、

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/networking/software/networking-subscription-ds.html> にて、Cisco Networking サブスクリプション データシートを参照してください。

製品仕様

表 2. 仕様

製品	仕様
製品番号	シスコ ワイヤレス 9171 アクセスポイント：内蔵アンテナs <ul style="list-style-type: none">CW9171I モデル：無指向性アンテナを備えた屋内アクセスポイント
ソフトウェア	シスコ ワイヤレス 9171I モデル：Cisco IOS XE ソフトウェアリリース 17.18.2 以降
サポート対象の Wireless LAN コントローラ	<ul style="list-style-type: none">Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ（物理または仮想）SD-Access モードの組み込みワイヤレスコントローラを備えた Cisco Catalyst 9000 スイッチ
802.11be	<ul style="list-style-type: none">2 つの空間ストリームを使用した 2x2（2.4 GHz、5 GHz/6 GHz）4096 直交振幅変調（QAM）マルチリンクオペレーションプリアンブル パンクチャリングアップリンク/ダウンリンク OFDMAターゲット起動時間（TWT）BSS カラーリング

製品	仕様
	<ul style="list-style-type: none"> • 最大比合成 (MRC) • 20、40、80、160、320 MHz チャンネル (6 GHz) • 20、40、80、160 MHz チャンネル (5 GHz) • 20 MHz チャンネル (2.4 GHz) <p>CW9171I モデル :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 最大 6.0 Gbps の PHY データレート (6 GHz で 2x2 320 MHz、5 GHz で 2x2 160 MHz、2.4 GHz で 2x2 20 MHz) • パケット集約 : Aggregate MAC Protocol Data Unit (A-MPDU) (送受信) 、Aggregate MAC Service Data Unit (A-MSDU) (送受信) • 802.11 Dynamic Frequency Selection (DFS) • Cyclic Shift Diversity (CSD) サポート • Wi-Fi Protected Access 3 (WPA3) サポート
802.11ax	<ul style="list-style-type: none"> • 2 つの空間ストリームを使用した 2x2 (2.4 GHz、5 GHz/6 GHz) • アップリンク/ダウンリンク OFDMA • 1024 QAM • TWT • BSS カラーリング • MRC • 802.11ax ビームフォーミング • 20、40、80、160 MHz チャンネル (5 および 6 GHz) • 20 MHz チャンネル (2.4 GHz) <p>CW9171I モデル :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 最大 2.7 Gbps の PHY データレート (2.4 GHz で 2x2 20 MHz、5 GHz で 2x2 160 MHz、6 GHz で 2x2 160 MHz) • パケット集約 : A-MPDU (送受信) 、A-MSDU (送受信) • 802.11 DFS • CSD サポート • WPA2/WPA3 サポート
802.11ac	<ul style="list-style-type: none"> • 2x2 の空間ストリームを使用した 2x2 + 2x2 ダウンリンクマルチユーザー多入力多出力 (MU-MIMO) • MRC • 802.11ac ビームフォーミング • 20、40、80、160 MHz チャンネル <p>CW9171I モデル :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 最大 1.7 Gbps の PHY データレート (5 GHz で 2x2 160 MHz)

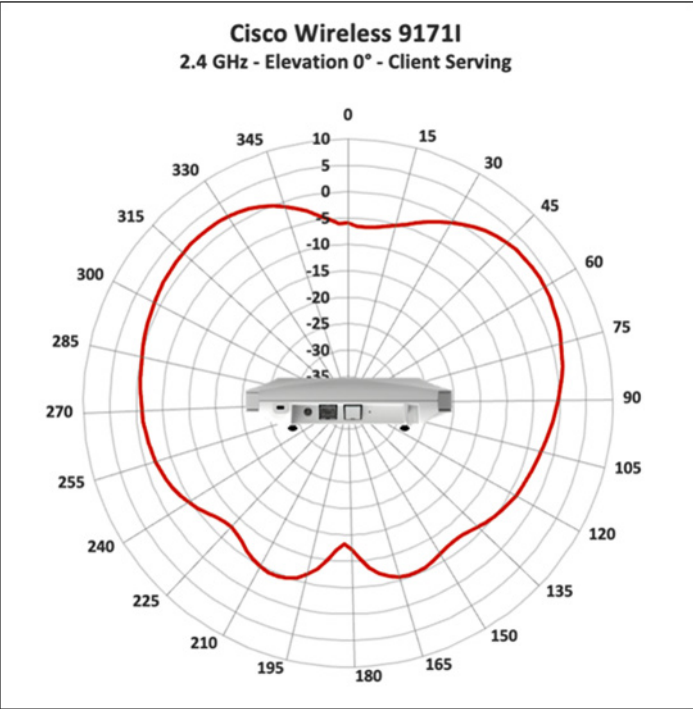
製品	仕様
	<ul style="list-style-type: none"> • パケット集約：A-MPDU（送受信）、A-MSDU（送受信） • 802.11 DFS • CSD サポート • WPA2/WPA3 サポート
内蔵アンテナ	CW9171I モデル： <ul style="list-style-type: none"> • 2.4 GHz：ピークゲイン 4 dBi、内蔵アンテナ、全水平方向 • 5 GHz：ピークゲイン 5.5 dBi、内蔵アンテナ、全水平方向 • 6 GHz：ピークゲイン 6 dBi、内蔵アンテナ、全水平方向 • IoT：ピークゲイン 2 dBi、内蔵アンテナ、全水平方向
802.11n バージョン 2.0 (および関連機能)	<ul style="list-style-type: none"> • 2 X 2 MIMO（2 つの空間ストリームに対応） • MRC • 802.11n および 802.11a/g ビームフォーミング • 20 および 40 MHz チャンネル CW9171I モデル： <ul style="list-style-type: none"> • 最大 440 Mbps の PHY データレート（5 GHz で 2 X 2 40 MHz、2.4 GHz で 2 X 2 20 MHz） • パケット集約：A-MPDU（送受信）、A-MSDU（送受信） • 802.11 DFS • CSD サポート
Interfaces	CW9171I モデル： <ul style="list-style-type: none"> • 1x 100M/1000M/2.5G マルチギガビット イーサネット（RJ-45）アップリンク • デフォルト速度 115,200 bps の管理コンソールポート（RJ-45） • USB 2.0（4.5 W） • DC 電源ジャック、54 V
内蔵無線	CW9171I モデル： <ul style="list-style-type: none"> • 3 つの無線すべてで Wi-Fi 7 802.11be • 2.4 GHz + 5 GHz または 6 GHz（すべて 2x2:2） • 専用スキャン/補助無線および IoT（BLE 6）無線
インジケータ	ステータス LED によるブートロードステータス、アソシエーションステータス、動作ステータス、ブートロード警告、ブートロードエラーの表示
寸法（幅 X 奥行 X 高さ）	CW9171I モデル（取り付けブラケットなし）： <ul style="list-style-type: none"> • 7.8 x 7.8 x 2.1 in.（20 x 20 x 5.3 cm）

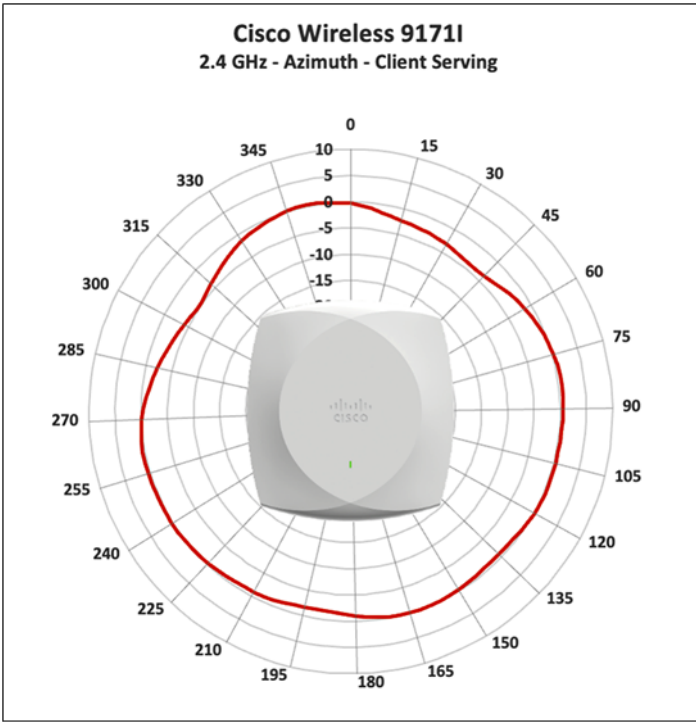
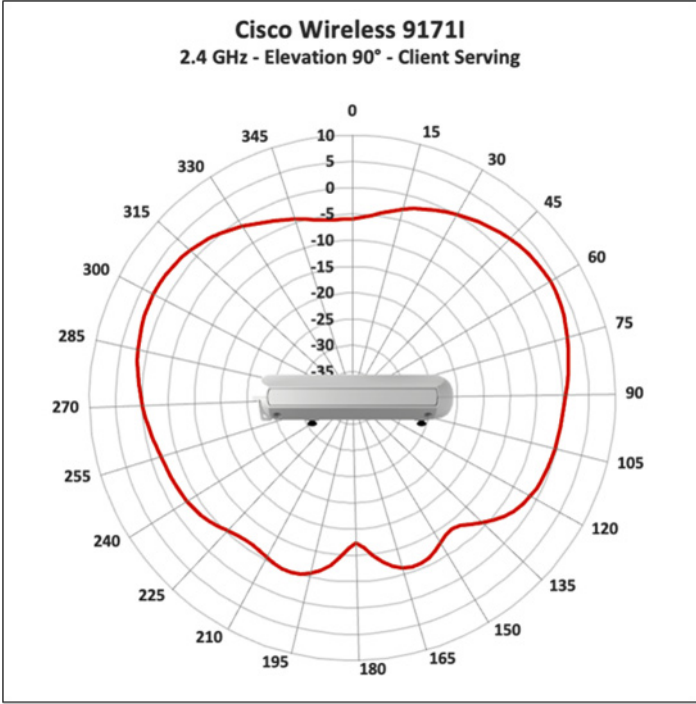
製品	仕様				
重量	CW9171I モデル： <ul style="list-style-type: none">• 1.9 lb (874g)				
マウントブラケット	CW9171I モデル： <ul style="list-style-type: none">• AIR-AP-BRACKET-1 または AIR-AP-BRACKET-2				
入力電源要件	電源	2.4 GHz 無線	5 GHz/6 GHz 無線	USB	リンク速度
	802.3bt クラス 5 (UPOE)	2 X 2	2 X 2	対応	2.5G
	802.3at (PoE+)	2 X 2	2 X 2	対応	2.5G
	802.3af (PoE)	1 x 1	-	-	1G
消費電力	電源		アイドル		標準
	デュアル無線 802.3at (PoE+)		TBD		TBD
<p>注：実際の消費電力は、アクセスポイントの使用状況によって異なる場合があります。代表的な消費電力は、アクセスポイントが通常の業務時間中にトラフィック* を通過させ、業務時間外はアイドル状態であることを前提としています。営業時間は 11 時間/日、週 6 日間を想定しています。</p> <p>* テスト条件：</p> <p>デュアル無線 802.3at：160 MHz（4x4）で動作する 5 GHz 帯域は、ダウンロードトラフィック帯域あたり 400 Mbps を通過させ、20 MHz（2x2）で動作する 2.4 GHz 帯域は、ダウンロードトラフィックあたり 50 Mbps を通過させます。USB は無効化、2.5G イーサネットポート、周囲温度 25°C（77°F）にて。</p>					
環境	CW9171I モデル： <ul style="list-style-type: none">• 非動作時（保管時）温度：-40 ~ 70°C（-40 ~ 158°F）• 非動作（保管）高度試験：0 ~ 55 kPa（約 4863 m、16,000 フィートにて）• 動作温度：0 ~ 50°C（32 ~ 122°F）• 40°C ~ 50°C（104°F ~ 122°F）の無線動作ディレーティング適用• 動作湿度：0% ~ 95%（結露しないこと）• 動作高度試験：0 ~ 4,205 m（13,800 フィート）で 45°C				
システムメモリ	<ul style="list-style-type: none">• 4096 MB DRAM• 16 GB ストレージフラッシュ				

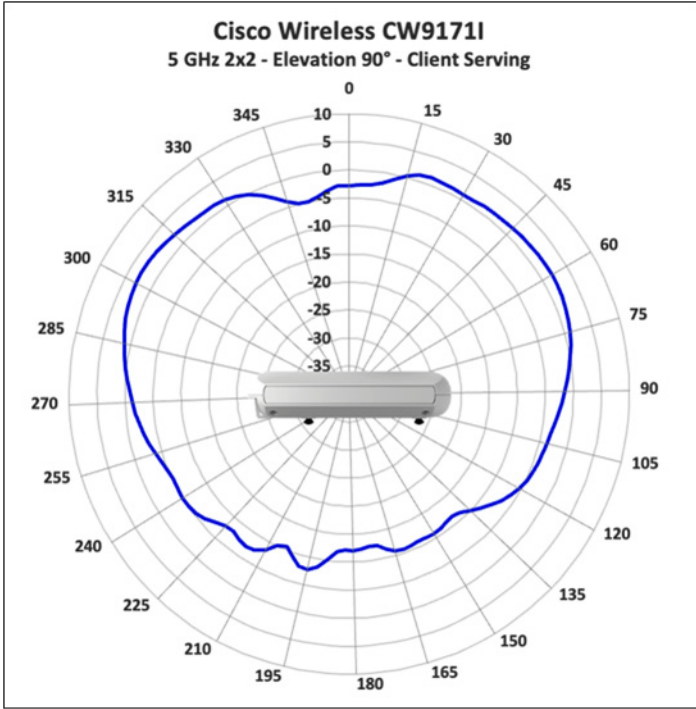
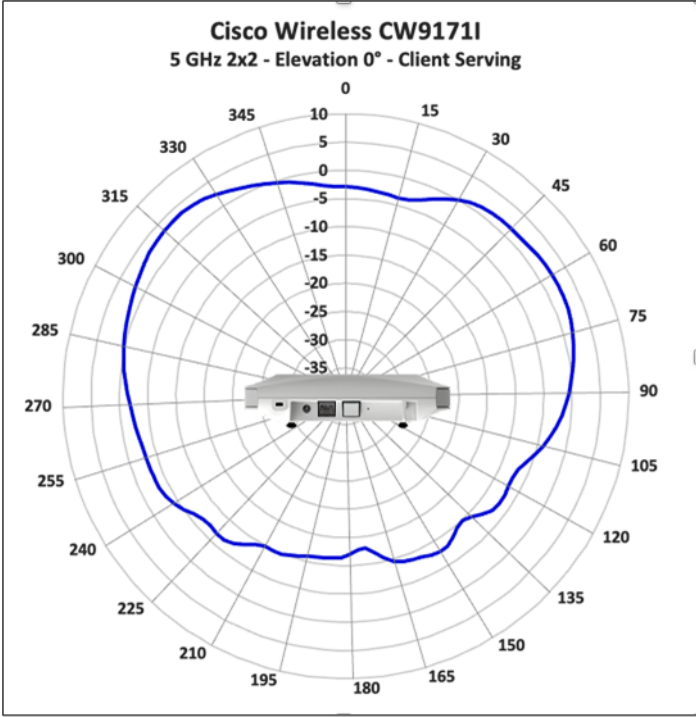
製品	仕様		
利用可能な送信出力設定	<p>2.4 GHz :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 17 dBm (50 mW) • -10 dBm (0.1 mW) <p>5 GHz :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 17 dBm (50 mW) • -10 dBm (0.1 mW) <p>6 GHz :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 17 dBm (50 mW) • -10 dBm (0.1 mW) <p>注記 : 6 GHz 帯域の使用が許可されていない国、または現在のソフトウェアサポートがない国では、6 GHz 無線は無効になります。6 GHz 帯での製品の動作が認定された国では、今後のソフトウェアで無線が有効になる可能性があります。</p>		
適合規格	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>• 安全性 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ IEC 60950-1 / IEC 62368-1 Ed.3 (Ed.2 価格偏差に関する付録付き) ◦ EN 60950-1 / EN 62368-1 Ed.3 (Ed.2 価格偏差に関する付録付き) ◦ UL 60950-1 / UL62368-1 3rd (Ed.2 価格偏差に関する付録付き) ◦ CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1 / CAN/CSA-C22.2 No. 62368-1 3rd (Ed.2 価格偏差に関する付録付き) ◦ AS/NZS60950.1 / AS/NZS62368.1 Ed.3 (Ed.2 価格偏差に関する付録付き) ◦ UL 2043 ◦ クラス III 機器 <p>• エミッション :</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ CISPR 32 (rev. 2015) +AMD1:2019 ◦ EN 55032:2015/A11:2020 ◦ EN IEC 61000-3-2:2019/A1:2021 ◦ EN 61000-3-3:2013+A1:2019 ◦ AS/NZS CISPR32: 2015+AMD1:2020 ◦ 47 CFR FCC Part 15B ◦ ICES-003 (Issue 7, Class B) ◦ VCCI-CISPR 32:2016 ◦ CNS 13438:2006 (95) ◦ KS C 9832:2019 ◦ QCVN 118:2018/BTTTT <p>• イミュニティ :</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ EN 55035:2017+A11:2020 ◦ KS C 9835:2019 <p>• エミッションとイミュニティ :</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ EN 301 489-1 V2.2.3 (2019-11) </td><td style="vertical-align: top;"> <p>• 無線機 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ EN 300 328 (v2.2.2) ◦ EN 301 893 (v2.1.1) ◦ EN 303 687 (v1.1.1) ◦ AS/NZS 4268 (rev. 2017) ◦ 47 CFR FCC Part 15C, 15.247, 15.407 ◦ RSP-100 ◦ RSS-GEN ◦ RSS-247 ◦ LP0002 (109) ◦ 日本 Std. 66, Std. 71 <p>• RF の安全性 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ EN 50385:2017 ◦ AS/NZS 2772 (rev. 2016) ◦ 47 CFR Part 2.1091 ◦ RSS-102 ◦ IEEE 標準 : ◦ IEEE 802.3 ◦ IEEE 802.3ab ◦ IEEE 802.3af/at ◦ IEEE 802.11a/b/g/n/ac/ax/be ◦ IEEE 802.11h, 802.11d <p>• セキュリティ :</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 802.11i (WPA2, WPA3) ◦ 802.1x/802.1x : SHA256 ◦ Enhanced Open/OWE ◦ Advanced Encryption Standard (AES) : GCMP128, GCMP256, および CCMP256 <p>• 拡張認証プロトコル (EAP) の種類 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ EAP-Transport Layer Security (TLS) </td></tr> </table>	<p>• 安全性 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ IEC 60950-1 / IEC 62368-1 Ed.3 (Ed.2 価格偏差に関する付録付き) ◦ EN 60950-1 / EN 62368-1 Ed.3 (Ed.2 価格偏差に関する付録付き) ◦ UL 60950-1 / UL62368-1 3rd (Ed.2 価格偏差に関する付録付き) ◦ CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1 / CAN/CSA-C22.2 No. 62368-1 3rd (Ed.2 価格偏差に関する付録付き) ◦ AS/NZS60950.1 / AS/NZS62368.1 Ed.3 (Ed.2 価格偏差に関する付録付き) ◦ UL 2043 ◦ クラス III 機器 <p>• エミッション :</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ CISPR 32 (rev. 2015) +AMD1:2019 ◦ EN 55032:2015/A11:2020 ◦ EN IEC 61000-3-2:2019/A1:2021 ◦ EN 61000-3-3:2013+A1:2019 ◦ AS/NZS CISPR32: 2015+AMD1:2020 ◦ 47 CFR FCC Part 15B ◦ ICES-003 (Issue 7, Class B) ◦ VCCI-CISPR 32:2016 ◦ CNS 13438:2006 (95) ◦ KS C 9832:2019 ◦ QCVN 118:2018/BTTTT <p>• イミュニティ :</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ EN 55035:2017+A11:2020 ◦ KS C 9835:2019 <p>• エミッションとイミュニティ :</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ EN 301 489-1 V2.2.3 (2019-11) 	<p>• 無線機 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ EN 300 328 (v2.2.2) ◦ EN 301 893 (v2.1.1) ◦ EN 303 687 (v1.1.1) ◦ AS/NZS 4268 (rev. 2017) ◦ 47 CFR FCC Part 15C, 15.247, 15.407 ◦ RSP-100 ◦ RSS-GEN ◦ RSS-247 ◦ LP0002 (109) ◦ 日本 Std. 66, Std. 71 <p>• RF の安全性 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ EN 50385:2017 ◦ AS/NZS 2772 (rev. 2016) ◦ 47 CFR Part 2.1091 ◦ RSS-102 ◦ IEEE 標準 : ◦ IEEE 802.3 ◦ IEEE 802.3ab ◦ IEEE 802.3af/at ◦ IEEE 802.11a/b/g/n/ac/ax/be ◦ IEEE 802.11h, 802.11d <p>• セキュリティ :</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 802.11i (WPA2, WPA3) ◦ 802.1x/802.1x : SHA256 ◦ Enhanced Open/OWE ◦ Advanced Encryption Standard (AES) : GCMP128, GCMP256, および CCMP256 <p>• 拡張認証プロトコル (EAP) の種類 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ EAP-Transport Layer Security (TLS)
<p>• 安全性 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ IEC 60950-1 / IEC 62368-1 Ed.3 (Ed.2 価格偏差に関する付録付き) ◦ EN 60950-1 / EN 62368-1 Ed.3 (Ed.2 価格偏差に関する付録付き) ◦ UL 60950-1 / UL62368-1 3rd (Ed.2 価格偏差に関する付録付き) ◦ CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1 / CAN/CSA-C22.2 No. 62368-1 3rd (Ed.2 価格偏差に関する付録付き) ◦ AS/NZS60950.1 / AS/NZS62368.1 Ed.3 (Ed.2 価格偏差に関する付録付き) ◦ UL 2043 ◦ クラス III 機器 <p>• エミッション :</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ CISPR 32 (rev. 2015) +AMD1:2019 ◦ EN 55032:2015/A11:2020 ◦ EN IEC 61000-3-2:2019/A1:2021 ◦ EN 61000-3-3:2013+A1:2019 ◦ AS/NZS CISPR32: 2015+AMD1:2020 ◦ 47 CFR FCC Part 15B ◦ ICES-003 (Issue 7, Class B) ◦ VCCI-CISPR 32:2016 ◦ CNS 13438:2006 (95) ◦ KS C 9832:2019 ◦ QCVN 118:2018/BTTTT <p>• イミュニティ :</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ EN 55035:2017+A11:2020 ◦ KS C 9835:2019 <p>• エミッションとイミュニティ :</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ EN 301 489-1 V2.2.3 (2019-11) 	<p>• 無線機 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ EN 300 328 (v2.2.2) ◦ EN 301 893 (v2.1.1) ◦ EN 303 687 (v1.1.1) ◦ AS/NZS 4268 (rev. 2017) ◦ 47 CFR FCC Part 15C, 15.247, 15.407 ◦ RSP-100 ◦ RSS-GEN ◦ RSS-247 ◦ LP0002 (109) ◦ 日本 Std. 66, Std. 71 <p>• RF の安全性 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ EN 50385:2017 ◦ AS/NZS 2772 (rev. 2016) ◦ 47 CFR Part 2.1091 ◦ RSS-102 ◦ IEEE 標準 : ◦ IEEE 802.3 ◦ IEEE 802.3ab ◦ IEEE 802.3af/at ◦ IEEE 802.11a/b/g/n/ac/ax/be ◦ IEEE 802.11h, 802.11d <p>• セキュリティ :</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ 802.11i (WPA2, WPA3) ◦ 802.1x/802.1x : SHA256 ◦ Enhanced Open/OWE ◦ Advanced Encryption Standard (AES) : GCMP128, GCMP256, および CCMP256 <p>• 拡張認証プロトコル (EAP) の種類 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ EAP-Transport Layer Security (TLS) 		

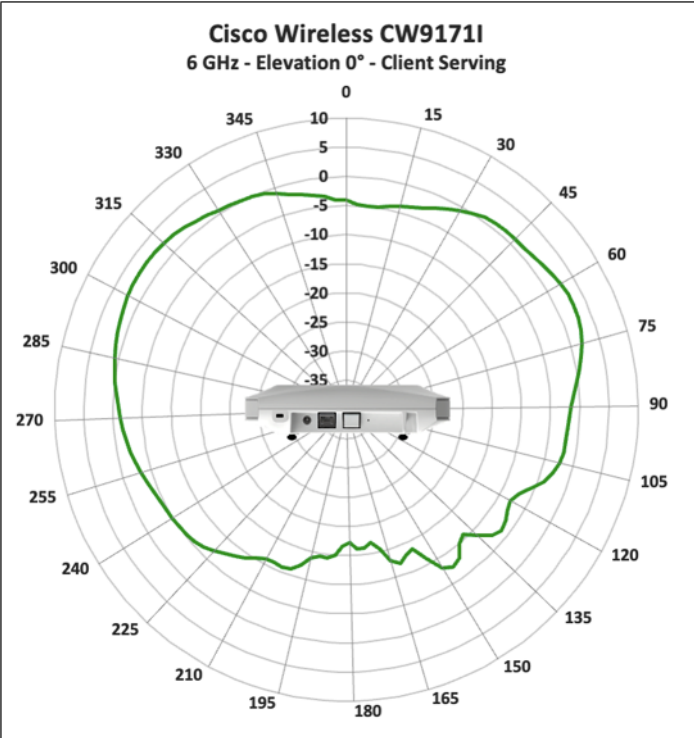
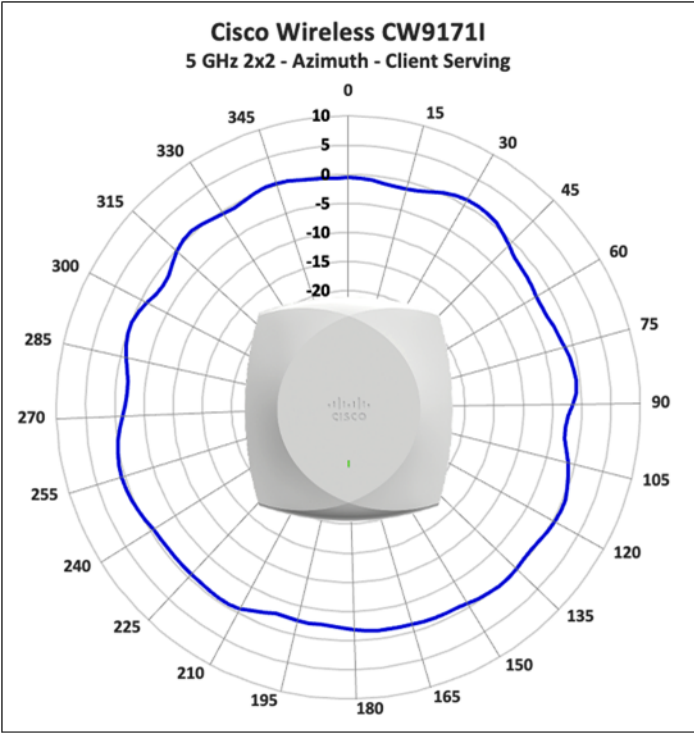
製品	仕様	
	<ul style="list-style-type: none"> ◦ EN 301 489-17 V3.2.4 (2020-09) ◦ QCVN (18:2014) ◦ QCVN 112:2017/BTTTT ◦ KS X 3124:2020 ◦ KS X 3126:2020 ◦ EN 61000-6-1:2019 ◦ EN 60601-1-2:2015+A1:2021 	<ul style="list-style-type: none"> ◦ EAP-Tunneled TLS (TTLS) または Microsoft Challenge Handshake Authentication Protocol (MSCHAP) v2 ◦ Protected EAP (PEAP) v0 または EAP-MSCHAP v2 ◦ EAP-Flexible Authentication via Secure Tunneling (EAP-FAST) ◦ PEAP v1 または EAP-Generic Token Card (GTC) ◦ EAP-Subscriber Identity Module (SIM)
認定	<ul style="list-style-type: none"> ● Wi-Fi Alliance : Wi-Fi 7 (R1) 、Wi-Fi 6 (R2) 、Wi-Fi 6E、WPA3-R3、WPA3-Suite B、Enhanced Open Security ● Bluetooth SIG : Bluetooth Low Energy 	

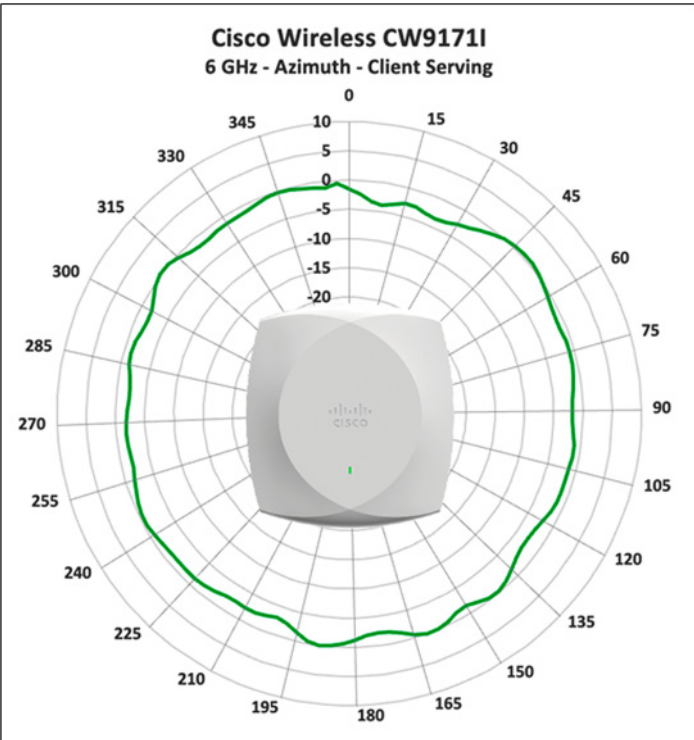
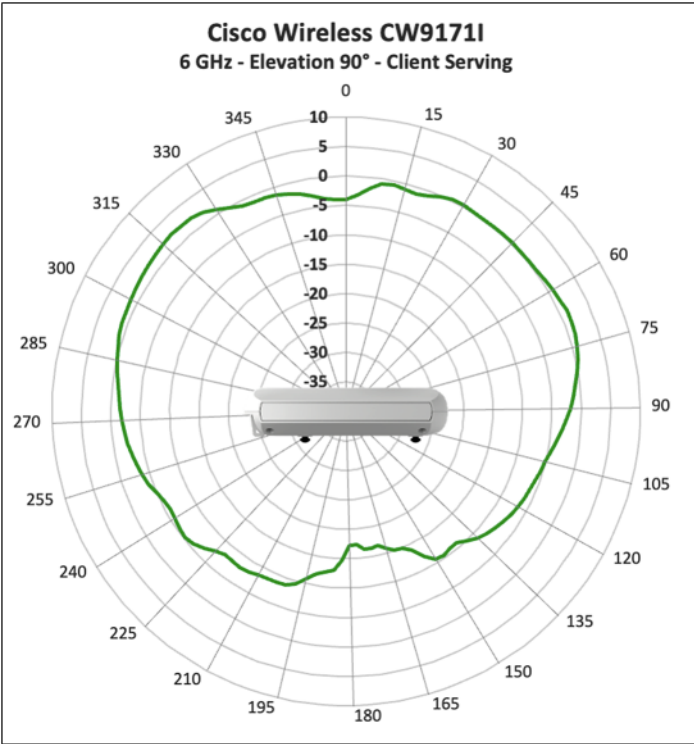
アンテナパターン：シスコ ワイヤレス 9171 シリーズ

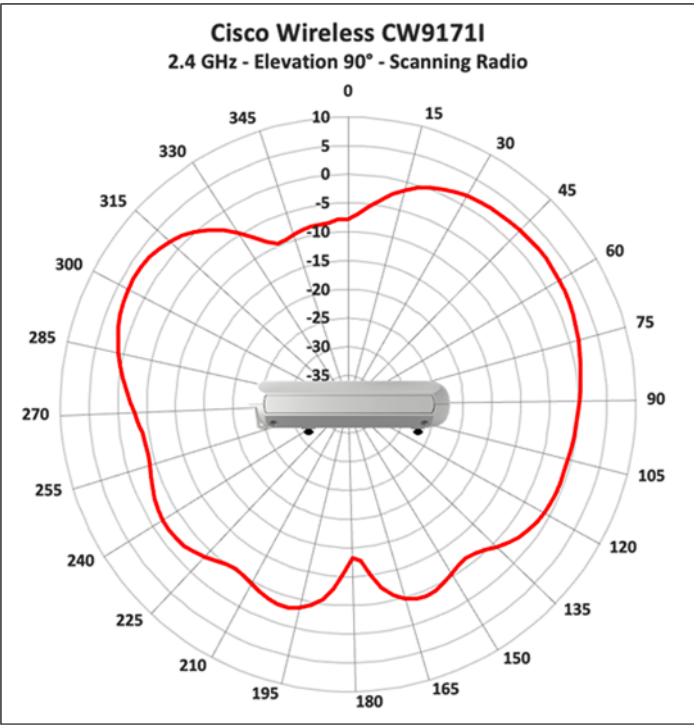
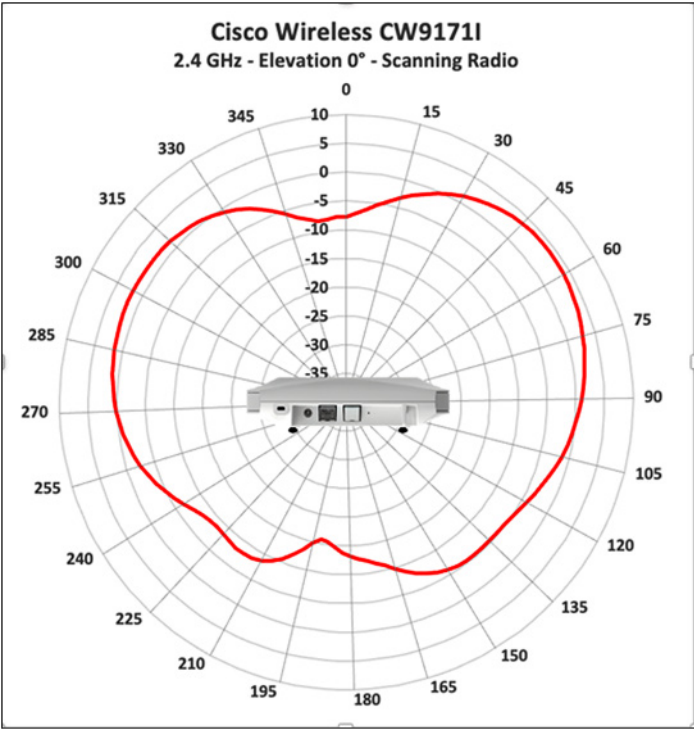


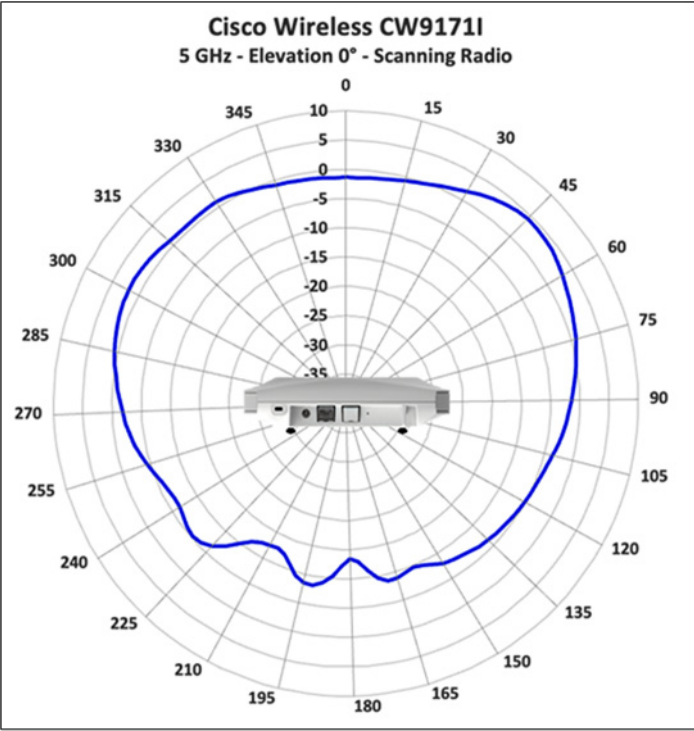
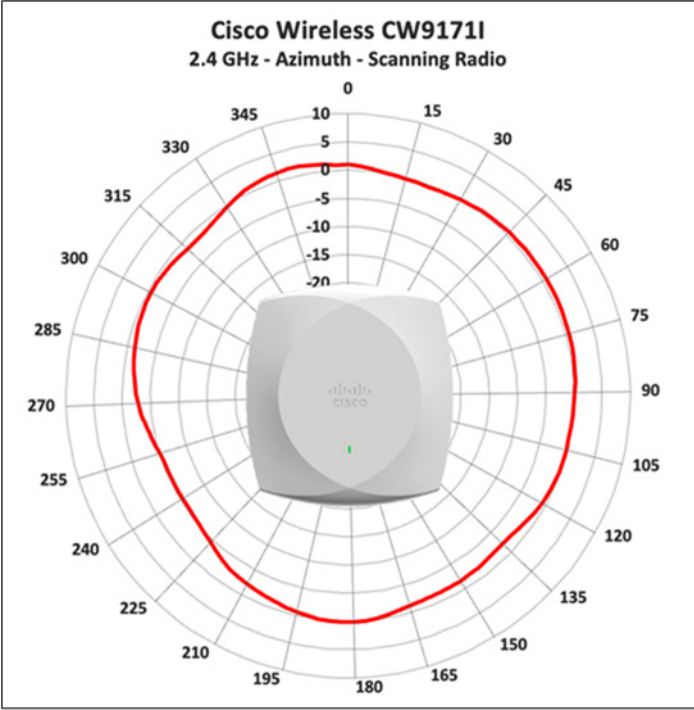


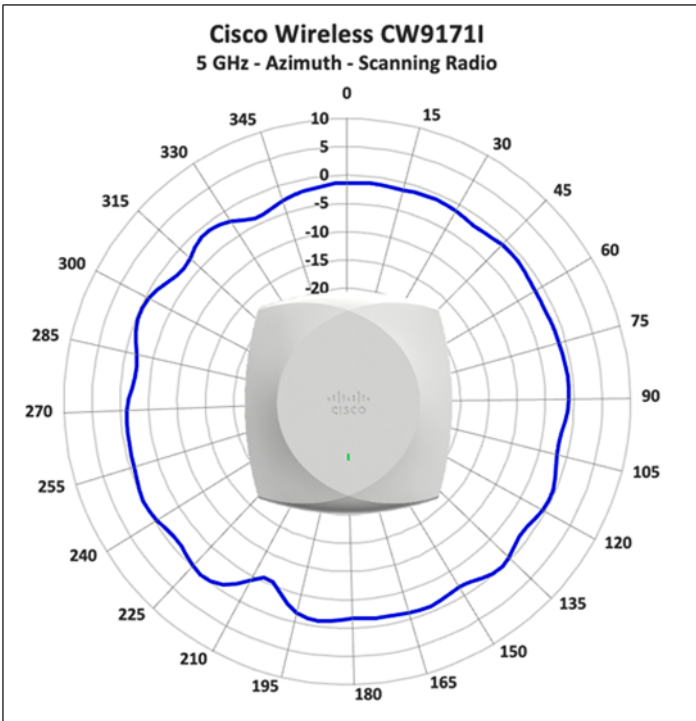
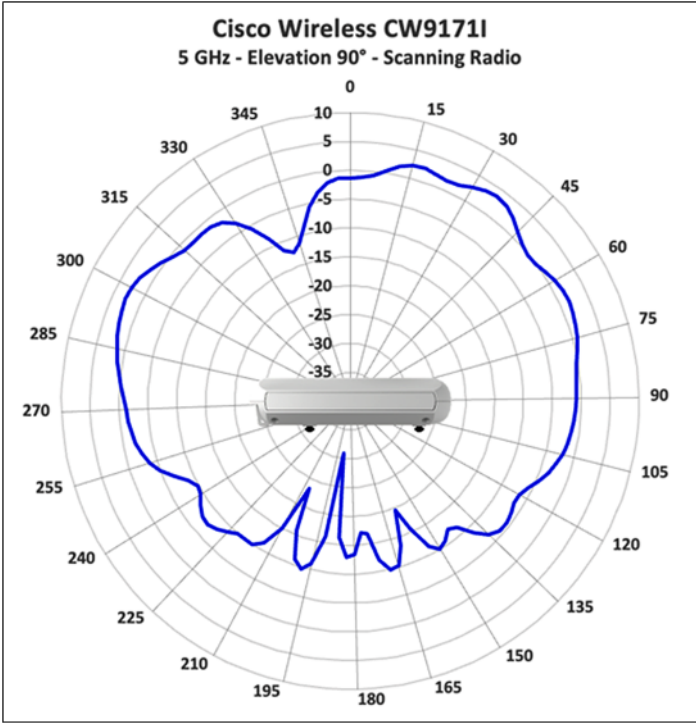


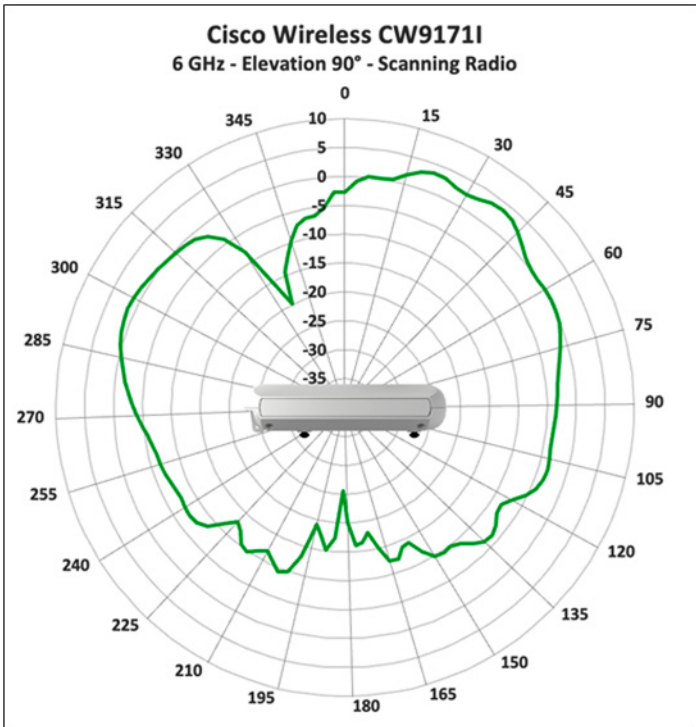
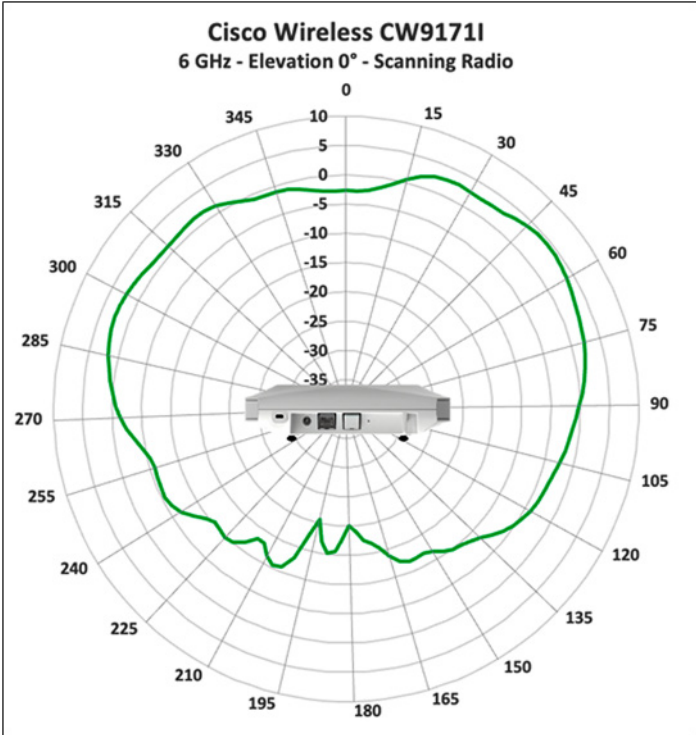


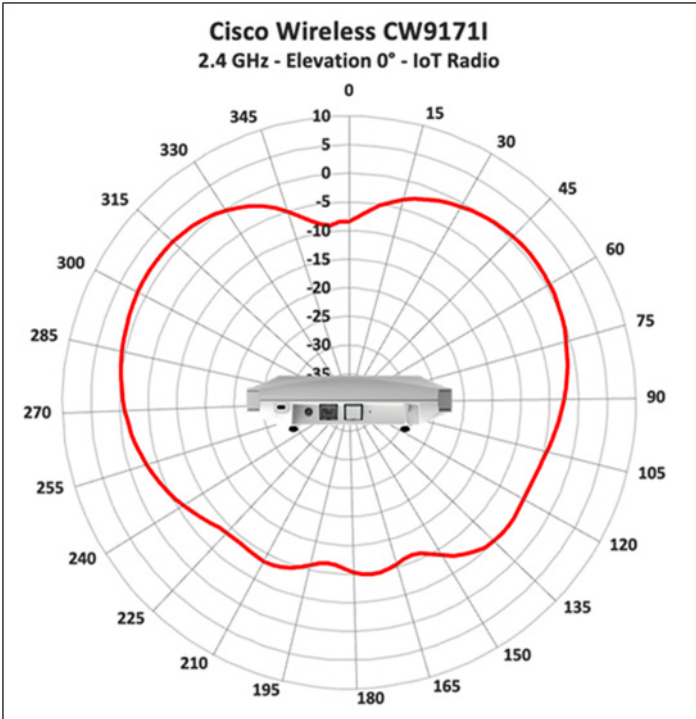
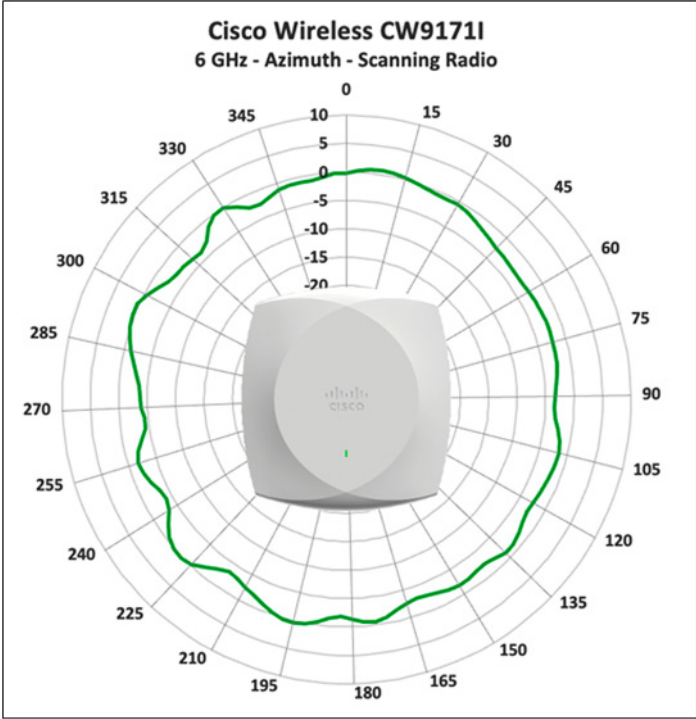


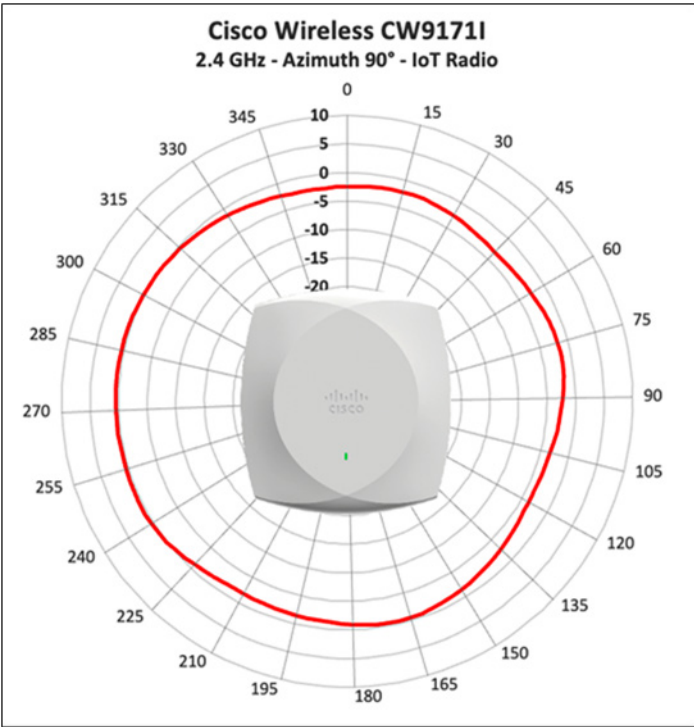
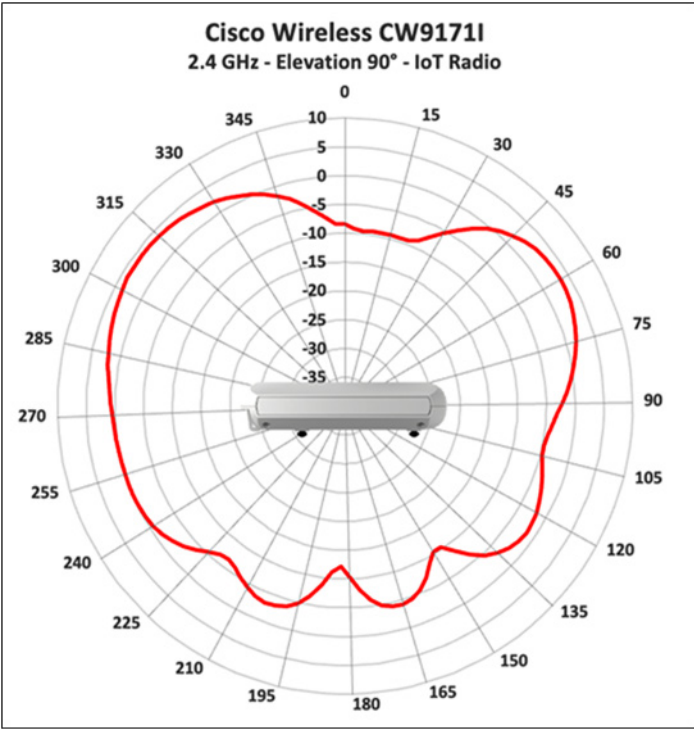












発注情報

Cisco Wireless 9171 シリーズ アクセスポイントを利用できます。発注方法については、購入のご案内のホームページまたは Cisco Wireless 発注ガイド [英語] を参照してください。

その他の製品番号については、Cisco Wi-Fi 7 製品の価格表を参照するか、お近くのシスコアカウント担当者にお問い合わせください。

保証情報

Cisco Wireless 9171 シリーズ アクセスポイントには、制限付きライフタイム保証が付属しています。この保証では、製品を購入したエンドユーザーが所有または使用し続ける限り、ハードウェアに対する包括的な保証が提供されます。この保証には、5 日間の代替品先行手配が含まれます。また、ソフトウェアメディアについては、90 日間、障害が発生しないことを保証します。詳細については、<https://www.cisco.com/jp/go/warranty> を参照してください。

製品持続可能性

シスコは、製造から使用後まで、製品ライフサイクルに持続可能性を組み込んでいます。シスコの[循環型設計の原則](#)を考慮して設計されたシスコの製品は、効率的なアーキテクチャ設計、電力消費、エネルギー管理、梱包の持続可能性、および回収に対処するものなど、個々とポートフォリオ全体の両方のプログラムとイノベーションを備えています。これらの要素は、運用コストの削減、温室効果ガス（GHG）排出量ネットゼロ目標の推進、およびその他のサステナビリティ関連の取り組みにおいて非常に重要です。

シスコの環境、社会、ガバナンス（ESG）イニシアチブおよびパフォーマンスに関する情報は、[シスコのパーパスレポートハブ](#)でご覧いただけます。

表 3. シスコの環境保全に関する情報

持続可能性に関するトピック		参照先
電源	消費電力の表	スタンドアロン アクセス ポイントでの一般的な消費電力とアイドル状態の消費電力 表 2. 仕様、消費電力
エネルギー管理	エネルギー管理ダッシュボード	Catalyst Center ダッシュボードは包括的なエネルギー管理機能を提供します。これにより、ユーザーは電力使用、エネルギー構成、コスト、および CO2 排出量を監視し、エネルギー消費をリアルタイムで最適化できます。 Cisco Catalyst Center Release Notes
	アクセスポイントの省電力モード	ユーザーは特定の機能を無効化して、業務時間外の消費電力を削減したり、低下 PoE モードで重要な機能に電力を再分配することができます。 AP 省電力設定ガイド
	ポートスケジューリング	ポートスケジュールにより、ユーザーはカスタムスケジュールでアクセスポイントへの Power over Ethernet (PoE) 電源をオフにして、業務時間外の電力消費を減らすことができます。 Cisco Meraki ポートスケジュール

持続可能性に関するトピック		参照先
材料、モジュール性、および再利用	ハードウェアのモジュール性	アクセスポイントのマウントハードウェアは旧来のシスコのアクセスポイントから再利用できるため、無駄が減り、アップグレードが簡素化されます。
	効率的なアクセスポイントアーキテクチャ	ダイオードを FET（フィールド効果トランジスタ）に置き換えて、電力損失を低減します。
	シスコの回収および再利用プログラム	プログラムにより、お客様は使用済みの機器を返却してリサイクルと再利用の責任を果たすことができます。 製品回収と再利用
	Cisco Refresh（認定再生品）	プログラムでは、認定された再生品を提供し、新しい機器に対する費用対効果の高い代替手段を提供します。 Cisco Refresh（認定再生品）
パッケージ	使い捨てプラスチックの排除	アクセサリ用のビニール袋を、紙製の梱包材に置き換えました。
	繊維素材を基本とする梱包	発泡材をリサイクル可能な繊維素材を基本とするソリューションに置き換えます。
	再生含有物	段ボール材料には、再生含有物が含まれています。
	アクセサリの除外	お客様はデフォルトのアクセサリを除外することができます。 シスコ ワイヤレス発注ガイド
	マルチパック	Catalyst と Cisco Meraki のお客様向けマルチパック パッケージ オプションにより、梱包材の量が削減されます。これにより、大規模なデプロイメントが簡素化され、出荷時の重量、コスト、および CO2 排出量が削減されます。
適合規格の遵守	環境に関する準拠	適用される環境に関する法律および規制へのシスコの適合に関する情報は、Cisco Purpose Reporting Hub の「Environmental Compliance」セクションで入手できます。 環境に関する準拠
	製品承認ステータス（PAS）	一定の国における特定のシスコ製品の認定ステータスに関する情報は、シスコのセルフサービスの PAS（製品承認ステータス）データベースでご覧いただけます。 PAS データベース
	製品関連材料の規則遵守	該当する製品関連材料の法律に関するシスコの位置づけ（危険物質に関する制限（RoHS）、化学物質の登録、評価、認可、制限（REACH）など）を以下のリンクでご覧になれます。 RoHS および REACH
	電気電子機器廃棄物（WEEE）、バッテリー、および梱包に関するコンプライアンス	該当する製品関連のリサイクル、バッテリー、および梱包の法律に関するシスコの位置づけを以下のリンクでご覧になれます。 WEEE、バッテリー、および梱包に関するコンプライアンス
	シスコの梱包資材およびコード	以下のリンクの表は、シスコ製品に使用される梱包資材を示しています。 梱包資材 およびコード

持続可能性に関するトピック		参照先
一般	持続可能性に関するお問い合わせ	シスコの一般および製品固有のサステナビリティへの取り組みに関する質問や情報についてはこのエイリアスにお問い合わせください。 csr_inquiries@cisco.com
	シスコの会社方針、立場、指針	シスコの環境保全に関するポリシー、立場、および指針へのリンクについては、シスコの事業目的の報告ハブの「ポリシー、立場、指針」セクションでご覧になれます。 会社方針、立場、指針
	Cisco Green Pay	Cisco Green Pay は、柔軟な支払いオプションを提供することで、持続可能なテクノロジーの導入を促進することを目的とした資金調達プログラムです。 Green Pay

シスコおよびパートナーの提供サービス

シスコサービスは、優れたインフラストラクチャを、低リスクで迅速に実現できるよう支援します。Cisco Wireless 9171 シリーズ向けのサービスでは、導入段階の WLAN 準備アセスメントから実装、完全なソリューションサポート、踏み込んだ内容のトレーニングに至るまでエキスパートによる支援体制を整えており、新しいアクセスポイントの計画、導入、管理、サポートを円滑に進めていただけます。ネットワーキングに関する、シスコサービスの比類ない専門知識、ベストプラクティス、革新的なツールにより、ネットワークにハードウェア、ソフトウェア、プロトコルを新しく導入する際のアップグレード、更新、移行にかかるコストを全体的に削減できます。シスコのエキスパートが提示する、包括的なサービスライフサイクルによって、中断を最小限に抑えて業務効率を改善でき、シスコインフラストラクチャから最大限の価値を得られます。詳細については、<http://www.cisco.com/go/services> を参照してください。

Cisco Capital

目的達成に役立つ柔軟な支払いソリューション

Cisco Capital により、目標を達成するための適切なテクノロジーを簡単に取得し、ビジネス変革を実現し、競争力を維持できます。総所有コスト (TCO) の削減、資金の節約、成長の促進に役立ちます。100 カ国あまりの国々では、ハードウェア、ソフトウェア、サービス、および他社製製品を購入するのに、シスコの柔軟な支払いソリューションを利用して、簡単かつ計画的に支払うことができます。[詳細はこちらをご覧ください。](#)

詳細はこちら

ビジネスに最適な Wi-Fi を提供する準備はできていますか。シスコ ワイヤレスおよび Wi-Fi 7 で、最新の状況を維持するだけでなく、先に進んでください。cisco.com/go/wifi7 で今すぐ全製品のラインアップを確認し、シスコのエキスパートにお問い合わせください。

米国本社
カリフォルニア州サンノゼ

アジア太平洋本社
シンガポール

ヨーロッパ本社
アムステルダム (オランダ)

シスコは世界各国に約 400 のオフィスを開設しています。オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト (www.cisco.com/jp/go/offices) をご覧ください。

Cisco および Cisco ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、www.cisco.com/jp/go/trademarks をご覧ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」または「partner」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナーシップ関係が存在することを意味するものではありません。(1110R)